



新年に於て亦不可不其形に存するものあり

益其勇健と進歩超来と云ふは依事なり

但州に在る氣近年稀之積雪五天取氷

清浄事務頗多苦辛一志り一多々黒井鶴牧

三四湯を浴せし由事あり然皆廢一里を合併し

以居つる以目的と一苛酷過爲し名を取らる

顧り弊譽腐敗と度外之可成丈大瓶に

少都合之あり然亦知以朱墨在信事余程

之を多くせし柳澤り如柳堂妻也出京して

建福の仕りあり困窮あり居る者一二人事件は

其し之を後出京し仕人、而余獨り言荷を

奉還し居るもの一居る。西洋札の發行

其大業道に採取し後為邦家子と云ふ洋札

三三三百万の外千八百萬とツイテ、皆て四萬札

少引習ふ多矣且和洋合化張紙刻するに似

大瓶省に退出りけ多獨伊為公少列座し其内白

り其も多し妻のありし胸算と病あり是迄暗合

天下に通るの施行の時より他他人に少知り其心中

宿、死す

皇國の國語、基

閣下云々天下に冠あり可智亦う歎○小杉権令元

方各々大面あり此妻の事あり其亦あり其亦一紙

の道あり其合して其亦あり其亦一紙内書

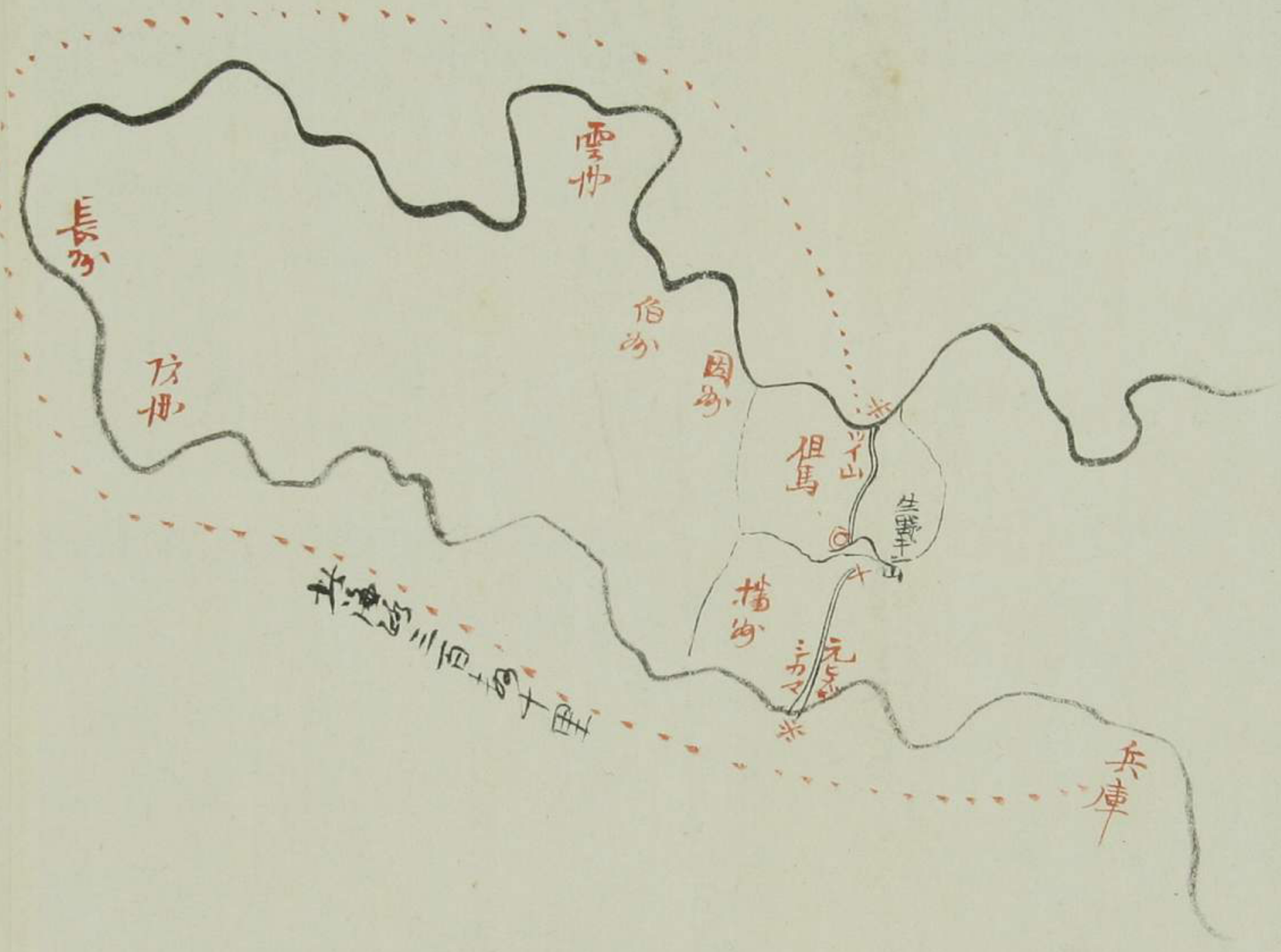
持けん如斯事の上りて其構屋に持し一僕亦其



大島子大島多り北青の東にありて亦亦ふか何卒一領
 小島にありて和合して年々其の井上右輔殿の借内御
 持けんとす斯事申上りて之機存に投一借亦其
 多しんを企て其の如き所りと美一口疑ふと之の如く
 慚愧に極む所を僕に材幸小
 尚下之恩眷を以て頭職に事聊微力を盡す
 得る事小本懐ありて職を令や一借了三丹小
 一大事業を我をんを望ふに極む老と

赤心一身に昇仙を志すは惟
 小柄に子供に事すはを誇るは

小海



◎平ありて有也 終り七八河を掘刻 必平が必平也

廿七八里を浚ヒ費用を初之凡修防十分は者

以得て高岸に田園年々其の如く水害を減

亦之若干の租税を控り勿論小海に諸物三百

数十里程を洋航行し省を省き早に成何

船好修修死に修いす 費用凡三十万金社を

◎不あり×不也 終り七八河を掘刻 必不が必不也
 廿七八里を浚ヒ費用を所せん 修防十分におき
 以得て高岸の田園年々必不の害を減
 亦必若干の租税を措けり勿論少海の諸物三百
 数十里程を洋航行し省を省き早に成何
 船好格死に移りて 費用凡三十万金社を
 開て此道を開 川並兼し利 通船税をあり
 費用を埋りて 此大業を終り 必不償願を得り
 知遇之恩を報る此一舉成否の開せり少海
 内海に通る津居山^{結の} 近き事
 此のる捨多る事なりん 必不採舟を希む
 必不得る事なり

方一舉成終り得て山師とて思ふる
 不幸借しあり成りて他人之手に成る
 何れも必不也 斯今勿論多々を望む書
 仲書し多福と部 必不 忠惶謹言

三月七日



大 系 議 様

田中権多事

岡下町親居